

アニメの力で地域に若者を呼び込む

埼玉県秩父市 産業観光部 観光課 主幹
秩父アニメツーリズム実行委員会事務局
中島 学



偶然のはじまり

秩父市は埼玉県の北西に位置し、秩父多摩甲斐国立公園にも属し山々に囲まれ自然豊かな観光文化都市です。面積は県の15%を占めますがその地域の87%は山林であり、人口も約6万人と過疎化が進んでいます。県内でも観光地として知られ年間約400万人の観光客を数えていましたが、10年程前より増加し現在では約

560万人が訪れるようになりました。更に、若い世代の観光客と街歩きの観光客が増加したことで、商店街や街の姿が変わっていきことになりました。

そのきっかけの一つとなったのが、2011年7月に某アニメとのコラボイベントを開催するために「秩父アニメツーリズム実行委員会」(以下、「実行委員会」)を設立したことでした。設立の目的は、秩父夜祭、芝桜、秩父札所巡礼など従来の柱となる観光資源とは別に新たな観光客を呼ぶことができないか！アニメを使ったイベントを開催することで「若い観光客を誘客したい!!」との思いからでした。



札所10番大慈寺(ここさけ)

一本の電話からアニメの聖地へ

2011年11月。制作会社からの一本の電話により、秩父が舞台設置のモデルとなったオリジナルアニメーション「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。」(以下「あの花」)の情報が入りました。すでに制

作が進み、TV放送5か月前の事です。「あの花」という作品の内容等、何も知らない状況でしたが秩父を舞台としたアニメであれば協力したいとの思いで直ぐに行動に移りました。行政が未知の事業に取り掛かる時に受け皿となる組織が存在していたことは偶然でしたが、大変意義のあることでした。

それから「アニメ×秩父」の歩みが始まり、「あの花」に続き「心が叫びたがってるんだ。」(以下「ここさけ」)も秩父が舞台となり、人気アニメ作品の聖地へとなっていました。この時は実行委員会の活動が10年続き、更には秩父が舞台の三部作目となるアニメ(「空の青さを知る人よ」)2019年10月11日全国公開へ繋がるのは誰も想像すらしないことでした。

アニメファンの気持ち

2012年5月「あの花」が深夜のTVアニメとして放送される中、街中では舞台を巡るファンの姿が日に日に増え、商店街には「あの花」ファン(若い世代の観光客)が溢れていました。そして夏休みになり、聖地秩父でのイベントを開催する時が訪れ



旧秩父橋(あの花)



札所17番定林寺(あの花)





ました。

実行委員会は手さぐりの中で、舞台探訪マップの配布、聖地七タイイベントそして街中を巡る回遊ラリーイベントなどを開催しました。放送終了直後の「あの花」人気もあり、夏休み期間のイベントには5000人以上の参加がありました。市民や商店街へもアニメの聖地として周知され、そして新しい地域活性化の光として「あの花」の存在が広がっていったのです。

その後も毎年「あの花」「ここさけ」の聖地イベントを開催していますが、2つの事に心掛け取り組んできました。一つは、アニメファンの気持ちを一番に思いイベントを開催することです。当然のことではありませんが、通常の観光イベントではなくアニメの聖地に訪れるファンに対し、何をしたら秩父に来てくれるのか？秩父に来て楽しんでくれるのか？どんなノベルティを喜んでくれるのか？等々を考え、悩み試行錯誤しながら実施してきました。

従来の観光業務と一番の違いは、ファンの方々は観光目的で来るのではなく、アニメの主人公たちが住む街に来て、場面写と重ね、キャラクターを思い描き、作品の世界観を感じるために秩父へ来てくれているということであり、好きなアニメの聖地がたまたま秩父だったんだ！と強く感じています。



お掃除大作戦!集合写真

そしてもう一つは、

ファンの交流スペース（秩父での居場所）の大切さです。聖地でもある街中商店街の施設「ほっとすぽとと秩父館」内の一部をコミュニティスペースとしてお借りしています。聖地を盛り上げ、継続させるのは、聖地に訪れてくれるファンです。ただ聖地巡礼をして帰るのではなく、交流出来る

場を提供することでファン同士や市民との交流が生まれ、聖地に対する想いも変わります。「あの花」と「ここさけ」の「聖地ちちぶ」はいつでもファンを迎え入れてくれる。そんな形が自然と作られ、育ててくれることは非常に大切なことです。

アニメのチカラ

アニメの舞台となったことで、埼玉県秩父市は知らなくても「聖地ちちぶ」には全国そして海外からもファンが訪れてくれます。それは今も途絶えることなく、何年もの思い続けやとと秩父を訪れてくれるファンも数多くいるのです。

そして、秩父への入口は聖地巡礼でしたが、何度も訪れ市民や商店と触れ合うこと



ほっとすぽとと秩父館(コミュニティスペース)

で人と人が繋がり、今までに無いコミュニティも生まれ、更には秩父市民の生活の中（祭りやイベントなど地元の一員として参加、参画へ一歩進み出すファンも多くなりました）。

アニメの聖地として数十万人ものファンを呼び、今までそしてこれからもアニメの聖地として活動ができるのも全ては「アニメのチカラ」であり、ファンの熱く深く強い気持ちによるものです。そして作品・ファン・制作会社の良好なトライアングルが成り立ち、その中心にトライアングルを受け止められる聖地（秩父）があるのが今の「聖地ちちぶ」の姿になつていていると思います。

これからも「聖地ちちぶ」は、舞台となった作品そしてファンと一緒に歩んでいきたいと思っています。



「あの花」×芝桜まつり誘客ポスター



札所巡礼コラボポスター